

2012 年度関東地区研究会報告

舛谷 鋭(関東地区担当)

関西地区研究会の実施状況を横目で見つつ、関東では様々な研究集会が実施されているため、かえって実施の必要を感じなかった面もあるが、今年度は会員非会員を問わず、とにかくいろいろな人に話をしてもらおうということで、研究会の性格やあり方については二の次で、まずは定例的な場の設定を目指した。その結果、9月まで以下の通り順調に開催(場所はいずれも立教大学池袋キャンパス)が叶い、定例研究会の年度内発表者も埋めることができた。折々無理を申し上げた報告者、コメンテーター、紹介者、またご参集の方々に改めて感謝したい。別日程で臨時研究会の設定を呼びかけたところ、応募もあった。この枠は引き続き募集中なので、国内外、自薦他薦を問わず報告されたい方が居られれば、ご希望の土曜午後等をご一報いただきたい。

開催分(敬称略):

参考(2011 年度最終研究会)

- 2012 年 3 月 29 日(木)14 時~17 時
鈴木絢女(福岡女子大学講師)「日本・マレーシア二国間関係の 20 年」
光成歩(東京大学大学院総合文化研究科博士課程)「イスラーム司法制度の現在:スランゴール州シャリーア下級裁判所調査より」
- 2012 年 4 月 28 日(土)14 時~17 時
内藤順子(立教大学観光学部交流文化学科助教)「観光地の先住民をめぐる人類学的考察:サラワク・イバンの事例から」

コメント:葛野浩昭(立教大学観光学部交流文化学科教授)

- 2012 年 5 月 26 日(土)10 時~13 時
真野俊樹(多摩大学大学院医療リスクマネジメント統合リスクマネジメント研究所教授)「メディカル・ツーリズムにおけるマレーシアの位置づけ」
川端隆史(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所/京都大学東南アジア研究所共同研究員)「マレーシアのニッチ戦略とメディカル・ツーリズム」
- 2012 年 6 月 16 日(土)14 時~17 時
杉村洋平(早稲田大学文学研究科(文化人類学コース)博士課程)「雑談による人間関係の維持:クダ州 G 村の事例から」
コメント:エリザベス・エスター(東京外国語大学大学院)
- 2012 年 7 月 21 日(土)14 時~17 時
砂井紫里(早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手)「アジア各地域のハラールの取り組みにおけるマレーシアの影響」
コメント:川端隆史(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所/京都大学東南アジア研究所共同研究員)
- 2012 年 9 月 22 日(土)14 時~17 時
三木敏夫(札幌学院大学経済学部教授)「タイ洪水とカントリーリスク:タイ洪水の教訓から」
コメント:岡本義輝(宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター研究員)

開催予定(敬称略):

•2012年10月27日(土)10時~17時
シンポジウム「アジアのディアスポラ文学——マレーシアと日本の交流文学事例から」

主催:立教大学観光学部交流文化学科、大阪大学グローバルコラボレーションセンター

共催:日本マレーシア学会、地域研究コンソーシアム(JCAS)等

場所:立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階ホール

※関東地区研究会を兼ねるのでお気軽にご参集いただきたい。

•2012年11月10日(土)臨時 13時~16時
場所:立教大学池袋キャンパス

岡本義輝(宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター研究員)「何故、日系企業 R&D 部門は優秀なローカル技術者を採用出来ないのか? :マレーシアでの日系・外資系企業の事例研究から」

コメント:横山久(津田塾大学文芸学部教授)

•2012年11月17日(土)14時~17時

場所:立教大学池袋キャンパス

渋谷百代(埼玉大学経済学部准教授)「クアラルンプールにおける都市貧困層の聞き取り調査から:サポート情報の流れについての問題点」

コメント:左右田直規(東京外国語大学総合国際学研究院准教授)

•2012年12月

※年次大会(立教大学)開催のためなし

•2013年1月12日(土)14時~17時

櫻田涼子(京都大学 GCOE 研究員)「新聞広告記事から読み解くマレーシア華人社会の変化」

コメント:舛谷鋭(立教大学観光学部交流文化学科教授)

•2013年3月2日(土)14時~17時

※2、3月研究会合併

小野真由美(早稲田大学アジア太平洋研究センター助手)「マレーシアのロングステイ研究」

コメント:豊田三佳(立教大学観光学部交流文化学科准教授)

関東地区研究会では Facebook ページを作成し、情報伝達と交流を図っている。ログイン可能な方はぜひご登録いただきたい。

<http://www.facebook.com/groups/136821259779588/>

現在、来年度の定例と今年度の臨時開催、また海外ゲストの講演実施を受け付けている。期間に余裕がない場合も遠慮なくご相談いただきたい。連絡は Facebook か 舛谷宛 <masutani@rikkyo.ac.jp> をお願いしたい。

以上、まだ途中経過だが、次年度担当終了時には、毎月開催の成果をご報告できるよう進めて行きたいので、各方面のご協力、何より各位の研究会へのご参加を乞う次第である。